

市政の執行状況

平成17年第2回市議会定例会が、5月31日から6月17日まで開催され、多田市長が開会初日に、3月から5月までの市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が主役 いきいき やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本柱に分類してお知らせします。

かいてき

新時代を支える 都市の形成

▼市内循環バスの平成16年度の利用者数は、5万2173人で、昨年度と比較すると0.3パーセントの増加

▼市民生活における快適な道路環境を維持するため、主要道路の路面清掃などの業務委託を5件発注

また、効果的な内水排除を図るため、市内排水機場のポンプおよび機械設備の点検業務委託を3件発注したほか、ポンプの修繕を発注

▼八潮南部3地区の仮換地指定率は、5月1日現在、西地区が84.2パーセント、中央地区が37.9パーセント、東地区が63.0パーセント

▼八潮駅北口の共同利用街区については、4月6日、商業施設の起工式を開催。また、行政施設を含む住宅棟は、工事の着手に向け準備中

▼つくばエクスプレスの開業に併せて整備を進めた坂三郷線の増川橋梁が3月に完成し、橋の名称は「ふれあい桜橋」と決定。今年度は、坂三郷線に接続する道路等を整備

▼上水道事業では、平成16年度における配水量は1099万4250立方メートルで、15年度と比較して14万1070立方メートルの増加

水道料金の調定額は、16億6839万円で15年度と比較して1082万円の増加

委託および工事等の発注状況は、水質検査業務をはじめ、浄配水場電

気設備点検業務、道路・宅内漏水等待機業務、中央浄水場次亜塩素酸ナトリウム注入設備修繕などの業務を発注。また、南部中央地区における配水管新設工事を2件、施工監理業務委託を2件、設計業務委託を1件発注

▼つくばエクスプレスの建設状況については、八潮駅の券売機、自動改札口、案内標識などの設置工事が完了し、8月24日の開業に向けた車両の試験走行も順調

▼5月22日に鉄道開業を目前としたPRの一環として、カウントダウンイベントと八潮駅見学会を開催し、4800人を超える多くの市民の皆さんが参加

▼狂犬病予防集合注射を4月18日から27日までの8日間、市内15カ所で実施

また、5月6日には、環境衛生委員会総会を開催

▼4月から、資源となる紙・布類の収集を月1回から2回へと増やすとともに、ペットボルの分別収集を八潮団地と伊草団地をモデル地区に、また、市内公共施設13カ所で拠点収集を開始。4月の収集量は、合計で800キログラム。紙、布類の4月の収集量は、7万9480キログラムであり、昨年4月と比べ、29.13パーセント増加

▼5月29日、清潔で明るく住みよい郷土の実現を目指し、「第16回ゴミゼロ運動」を実施

▼4月6日から15日までの10日間、「春の全国交通安全運動」を実施し、交通安全団体、関係機関の協力により、広報活動、街頭キャンペーンなどを実施

▼1月から4月までの火災発生件数は11件で、昨年の同時期と比較して



八潮駅見学会

▼稲荷伊草第二、鶴ヶ曾根・二丁目大瀬古新田、西袋上馬場土地区画整理事業について、それぞれ審議会を開催

また、各地区において、杭埋設および点検測量業務委託、街路樹管理業務委託を発注

やすらぎ

心やすらぐ安全な 生活環境の形成

▼公園や広場、運動施設などを安全で快適に利用できるよう年間管理業務委託を発注

▼子育て支援策の一環として、4月から妊婦とその夫を対象とした「パパ・ママ学級」を毎月1回、日曜日開催。また、出産や育児不安の軽減を図るため、妊婦や産婦の交流の場として「プレママサロン」を月1回開催

▼5月20日から22日までの3日間、「第14回八潮市書道展」を八幡公民館で開催

▼社会体育指導委員の任期満了に伴い、新たに20人を委員として委嘱

▼春のスポーツ教室として、「シェイプアップアクアビクス教室」と「エアロビクス教室」を開催

▼5月1日現在の小学校の児童数は4604人（156学級）、中学校の生徒数は2025人（60学級）で、児童生徒総数は6629人（216学級）となり、昨年と比較すると児童生徒は49人の減少、学級は1学級増加

▼「学力の向上」「豊かな心の育成」「不登校・非行問題の解消」を図るため、学校、保護者および地域社会が一体となった取り組みを展開

8件減少。救急出動件数は、1月から4月まで1095件で、そのうち交通事故によるものが186件。昨年の同時期と比較して84件増加し、交通事故は6件増加

▼5月22日、消防署で平成17年度の新入消防団員16人に対し、新入団員研修を実施

▼市営中馬場住宅の空家1戸の入居を募集

▼職員の初動体制の確認および防災意識の高揚を図るため、災害時を想定し、5月17日早朝、職員の「参集訓練」を実施



職員参集訓練の様子

ふれあい

明るく生きがいに みちた社会の形成

▼ボランティア活動を推進するため、八潮市ボランティア審議会と聖徳大学生涯学習研究所が共同で、「八潮市民のボランティアニーズに関する調査」を実施

▼生活保護世帯の自立を助長するため、5月1日付けで生活保護世帯就労促進指導員を1人委嘱

▼5月21日、エイトアリーナで八潮市社会福祉協議会の共催による「第33回八潮市高齢者と障害者のスポーツの祭典」を開催

▼第14回八潮市民まつり実行委員会

が設立され、つくばエクスプレスの開業式典に併せ、8月20日に前夜祭として中川やおフラワーパークで花火大会、翌21日に駅北口周辺で市民まつりを開催

▼平成17年度からの国民健康保険税の税率改定について、広報4月号やホームページに掲載。さらに、加入者の皆さんには、個別に通知

▼八潮市次世代育成支援行動計画策定提言会議の意見等を踏まえ、3月に「八潮市次世代育成支援行動計画」を策定

また、4月4日、7カ所の市立保育所で行い、600人が入所

▼障害者福祉に関するアンケートや関係福祉団体および八潮市障害者行動計画策定提言会議での意見等を踏まえ、3月に「第2次八潮市障害者行動計画」を策定



3月策定の両行動計画書

▼子育て支援策の一環として、4月から妊婦とその夫を対象とした「パパ・ママ学級」を毎月1回、日曜日開催。また、出産や育児不安の軽減を図るため、妊婦や産婦の交流の場として「プレママサロン」を月1回開催

▼4月28日、八潮市商工振興審議会が開催され、地域経済の振興を図るための条例の制定に向けての中間答申書を提出

▼八潮市こまつな産地営農新生協議会が小松菜の消費拡大を図るため、毎月8日を「こまつなの日」と定め、PR事業を推進

▼ドメスティック・バイオレンス被害者支援対策の充実を図っていくため、県内ではじめての制度となる「ドメスティック・バイオレンス被害者同行支援制度」および被害者の安全を一時的に確保するため、民間宿泊施設と協定を結んだ「ドメスティック・バイオレンス被害者緊急一時宿泊施設利用制度」を4月1日から開始

▼学校施設整備については、潮止小学校プール循環浄化装置の改修工事と八潮中学校のエレベーターの改修工事を発注

▼「やしお市民大学」の第3期学生を募集し、5月28日には八潮メッセで入学式・始業式を行い、授業を開始

▼5月20日から22日までの3日間、「第14回八潮市書道展」を八幡公民館で開催

▼社会体育指導委員の任期満了に伴い、新たに20人を委員として委嘱

▼春のスポーツ教室として、「シェイプアップアクアビクス教室」と「エアロビクス教室」を開催

▼5月1日現在の小学校の児童数は4604人（156学級）、中学校の生徒数は2025人（60学級）で、児童生徒総数は6629人（216学級）となり、昨年と比較すると児童生徒は49人の減少、学級は1学級増加

▼「学力の向上」「豊かな心の育成」「不登校・非行問題の解消」を図るため、学校、保護者および地域社会が一体となった取り組みを展開

▼4月22日、八潮市立資料館協議会を開催し、ふるさと新書の編さんおよび博物館登録について審議

▼5月24日、八潮市文化財保護審議会を開催し、有形文化財の保存管理、民俗技術調査について審議

▼収蔵品の中から田植え用の農具を資料館内に、また、寄贈された鯉のぼりを古民家とロビーにそれぞれ展示

▼市民に開かれた計画的な行政推進体制の形成

▼平成16年度の「生涯学習まっすぐり出前講座」の実施状況は、57講座に251件の申し込みがあり、受講者は1万3019人

▼市民政策提言会議の第4回会議を3月28日に開催し、市民参加によるまちづくりを推進していくための方策について、議論

▼4月1日付けで消防士3人を採用。また、近隣市町との人事交流として、引き続き吉川市から職員1人を受け入れるとともに、松伏町に職員1人を派遣。さらに、埼玉県との人事交流として、職員1人を相互派遣

▼住民基本台帳の閲覧制度の見直しを行い、4月1日から閲覧回数制限や転記用紙を指定するなど、大量閲覧抑制に関する対策を講じた

▼5月10日から勤労青少年ホーム（ゆまにて）で、住民票の写しや印鑑証明書などの発行事務を開始

▼生涯学習まっすぐり推進課

03328

03328

03328



農具と鯉のぼりの展示